平成１４年8月2日

各　位

会社名　株式会社　静　岡　銀　行
代表者名　取締役頭取　松　浦　　康　男
（コード番号　８３５５　東証第１部）
問合せ先　取締役執行役員経営企画部長
中　西　　勝　則
（ＴＥＬ．０５４－２６１－３１３１）

四半期情報の開示について

当行の平成15年３月期　第１四半期（平成14年４月１日から平成14年６月30日）における四半期情報について、お知らせいたします。

以下に掲げる四半期情報は、経済対策閣僚会議「改革先行プログラム」および金融庁「証券市場の構造改革プログラム」の趣旨等を踏まえ、当四半期から任意の会社情報として開示するものであります。

（注）以下に記載する数値は、公認会計士または監査法人の監査は受けておりません。なお、２．の自己資本比率は連結ベースの予想値、それ以外については単体ベースの実績値です。

１．「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」（単体）

（単位：億円）

	平成14年６月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	782
危険債権	1,253
要管理債権	444

（参考）　（単位：億円）

平成14年３月末（実績）
784
1,311
420

（注）平成14年６月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第４条に規定する各債権のカテゴリーにより分類し、以下の方法により算出しております。

１．平成14年６月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、同年３月末時点における債務者区分（※）をベースとし、同３月末から６月末までの倒産、不渡り、延滞等の客観的な事実のほか、当行の定める債務者格付・自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、６月末残高にて開示しております。

なお、当行は「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額のうち、無価値と認められる部分の直接償却（部分直接償却）は実施しておりません。

２．平成14年６月末の「要管理債権」の金額は、同様に同年３月末時点における「要管理債権」をベースとし、同３月末から６月末までに新たに「要管理債権」となった貸出債権、および回収状況ならびに債務者区分の変更を勘案し、６月末残高にて開示しております。

（※）債務者区分との関係

・破産更生債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）
・危険債権（破綻懸念先の債権）
・要管理債権（要注意先のうち、利払いが３カ月以上延滞しているか、または貸出条件を緩和している貸出債権）

２．自己資本比率（国際統一基準・連結）

	平成14年９月末(予想値)
連結自己資本比率	12.4%程度
連結Ｔｉｅｒ Ｉ比率	10.7%程度

（参考）

平成14年３月末（実績）
12.51%
10.85%

（注）上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

３．時価のある有価証券の評価差額（単体）

○評価差額

（単位：億円）

	平成14年６月末			
	時価	評価差額		
			うち益	うち損
その他有価証券	18,202	1,034	1,136	102
株　式	2,457	864	912	48
債　券	9,482	168	169	1
その他	6,262	1	54	52

（参考）　（単位：億円）

平成14年３月末			
時価	評価差額		
		うち益	うち損
18,652	1,049	1,136	87
2,456	905	928	22
9,966	170	174	4
6,229	△ 27	33	60

（注）１．平成14年６月末の「評価差額」および「含み損益」は、平成14年６月末時点の帳簿価額（償却原価法適用前、減損処理前。なお、外貨建て有価証券については、外貨建て帳簿価額を６月末仲値により円換算した額。）と時価との差額を計上しております。

２．なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式で時価のあるものは、該当ありません。

４．デリバティブ取引（単体）

（１）金利関連取引

（単位：億円）

区分	種類	平成14年６月末		
		契約額等	時価	評価損益
取引所	金利先物	87	△ 0	△ 0
	金利オプション	－	－	－
店頭	金利スワップ	3,417	1	1
	その他	994	△ 0	△ 0
合計				1

（参考）　（単位：億円）

平成14年３月末		
契約額等	時価	評価損益
37	0	0
－	－	－
3,478	1	1
912	△ 0	△ 0
		1

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

（２）通貨関連取引

（単位：億円）

区分	種類	平成14年６月末		
		契約額等	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	1,117	2	2

（参考）　（単位：億円）

平成14年３月末		
契約額等	時価	評価損益
1,035	2	2

（注）１．ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引および下記注２．の取引は、上記記載から除いております。

２．期間損益計算を行っている通貨スワップ取引の契約額等は、下記のとおりであります。

（単位：億円）

種類	平成14年６月末		
	契約額等	時価	評価損益
通貨スワップ	822	8	8

（参考）　（単位：億円）

平成14年３月末		
契約額等	時価	評価損益
930	7	7

また、先物為替予約、通貨オプション等のうち、年度末および中間期末において引き直しを行っている通貨関連のデリバティブ取引の契約額等は、下記のとおりであります。

（単位：億円）

区分	種類	平成14年６月末
		契約額等
取引所	通貨先物	－
店頭	為替予約	522
	通貨オプション	3,536

（参考）　（単位：億円）

平成14年３月末
契約額等
－
314
3,451

（３）株式関連取引

該当ありません。

（４）債券関連取引

（単位：億円）

区分	平成14年６月末		
	契約額等	時価	評価損益
取引所	350	△ 2	△ 2
店頭	－	－	－
合計			△ 2

（参考）　（単位：億円）

平成14年３月末		
契約額等	時価	評価損益
19	△ 0	△ 0
－	－	－
		△ 0

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

（５）商品関連取引

該当ありません。

（６）その他

該当ありません。

５．貸出金の状況(単体)

（単位：億円）

	平成14年６月末
総貸出金	49,377
中小企業等向け貸出金	35,107
うち消費者ローン	12,643
静岡県内貸出金	33,838
県内中小企業等向け貸出金	28,828
うち県内消費者ローン	10,529

（参考）　（単位：億円）

平成14年３月末
50,770
35,493
12,593
34,113
29,149
10,482

６．預金の状況（単体）

（単位：億円）

	平成14年６月末
総預金	67,656
国内店預金	64,260
円貨預金	62,879
円貨流動預金	33,555
円貨固定預金	29,324
外貨預金	1,381
静岡県内預金	56,009

（参考）　（単位：億円）

平成14年３月末
68,837
63,697
62,508
32,296
30,211
1,188
55,779

７．個人預り資産（単体）

（単位：億円）

	平成14年６月末
個人預り資産末残	51,407
円貨預金	45,755
投資信託	301
外貨預金	857
公共債（国債）	4,493

（参考）　（単位：億円）

平成14年３月末
49,767
44,686
324
723
4,032

以　　上